

経営会議の内容

件 名	大和市安全安心ステーション事業の実施について
所 管 部	市民経済部
日時・場所	平成21年10月23日(金) 9:35 ~ 10:02 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、消防長、教育部長、議会事務局長、財政課長、総合政策課長、総合政策課総合政策担当係長、安全なまちづくり課長
提出理由	駅前空間の安全安心の確保に向け、大和市安全安心ステーション事業を実施したいため
会議経過	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、安全安心ステーションを展開する計画はあるのか。 (所管部) 駅前に交番が無い地区で実施するので、該当するのは桜ヶ丘駅周辺が考えられる。 ・ 安全安心アドバイザーを警察官経験者としたのはなぜか。 (所管部) 警察官経験者は、防犯についての経験や警察が行う交番業務に精通していることで警察と安全安心ステーションが行う業務のすみわけが可能である。 ・ 安全安心アドバイザーは、青パトでの巡回パトロールを行うのか。 (所管部) 現在は、立番を基本としている。 ・ 実施時間が14時から22時とした考え方はどうか。 (所管部) 児童の下校時間や犯罪の発生時間の状況を考慮した。 ・ 橋上駅舎など、線路を跨ぐ片側に交番があってもう一方には無い場合、双方に設置を考慮するのか。 (所管部) 駅前に交番がある場合は、安全安心ステーションは設けない考えである。 ・ 人員配置は複数配置としなくて良いのか。 (所管部) 他市の状況を加味した結果、1名としている。17時から20時の間は2名を配置する。 ・ 実施時間が14時から22時となっているが、時期によっては午前中の開設や時間延長など必要ではないか。 (所管部) 事業開始後、状況を見定めた中で柔軟に対応していきたい。
会議結果	原案のとおり、進めていく。